

7年半過ぎた飯舘村の現状は…

樋野伸一

—原発ゼロの会
共同代表

がフクシマ報告

島根原発エネルギー問題県民連絡会は11日、松江市で「原発事故7年半、福島現状報告会」を開きました。原発ゼロの会の樋野伸一共同代表がフクシマで実際に見てきた現状を報告しました。

樋野氏は、現地の様子をスライドで上映しながら、①事故原発廃止措置ロードマップで2013年11月に終わる

はずだった1期の燃料取り出しの目処が立たないまま改定もされないこと、②汚染水にはトリチウム以外にも基準の何万倍もの放射性物質を含んでいることが判明したこと、③仮設住宅では未だ6万人が暮らし、自殺者が増え続けていることなどを報告。「フクシマを忘れるな。原発と人類は共存不可能」と強調しました。